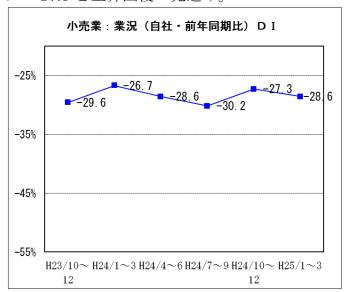
# 4. 小売業の動向

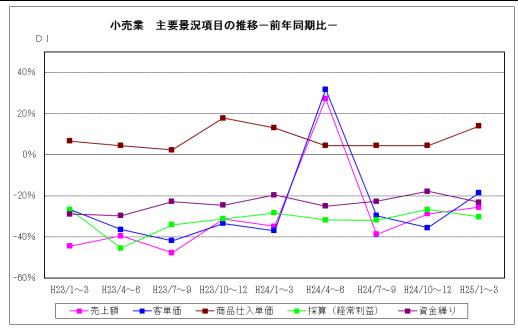
### (1) 業況概要(前年同期比)

今期の業況DI値は、マイナス 28.6。前期のマイナス 27.3 から 1.3 ポイント下落した。 来期見通しは、マイナス 17.9 と上昇回復の見込み。



小売業の主要景況項目 DI 値の推移(前年同期比・%)

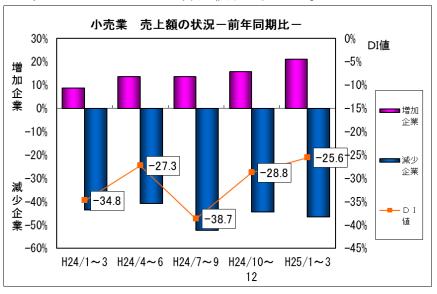
	- 2-71 - 2-2777 - 10 - 7-12 (107 1 1 17/10 - 7-17)												
	前々期	前 期(A)	今 期(B)	今期と前期の差	来期								
	(24年7月~9月)	(24年10月~12月)	(25年1月~3月)	(B) - (A)	見通し								
売上額	▲38.7	▲28.8	<b>▲</b> 25.6	3.2	<b>▲</b> 20.9								
客単価	▲29.6	<b>▲</b> 35.5	<b>▲</b> 18.6	8.6	▲18.6								
商品仕入単価	4.5	4.5	14.0	16.9	11.6								
採算 (経常利益)	▲31.9	<b>▲</b> 26.7	▲30.2	<b>▲</b> 3.5	<b>▲</b> 25.6								
資金繰り	▲22.7	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 23.1	<b>▲</b> 5.3	▲20.9								



#### (2) 主要項目の概況(前年同期比)

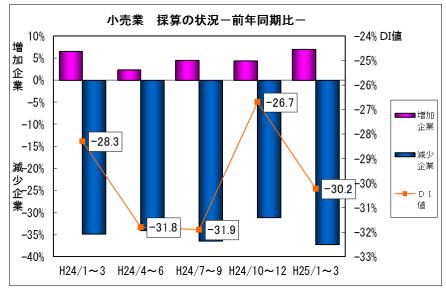
#### ①売上額(前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 25.6。前期のマイナス 28.8 から 3.2 ポイント上昇した。来期見通しは、マイナス 20.9 と上昇回復する見通し。



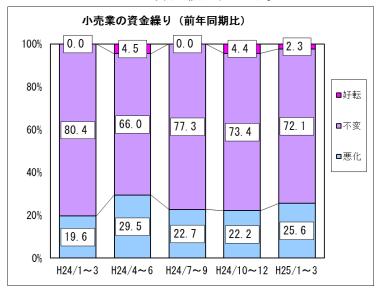
#### ②採算(前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 30.2。 前期のマイナス 26.7 から 3.5 ポイント下落した。 来期見通しは、マイナス 25.6 と上昇回復の見込み。



#### ③資金繰り(前年同期比)

今期の資金繰りDI値は、マイナス 23.1。前期のマイナス 17.8 から 5.3 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 20.9 と上昇回復の見込み。

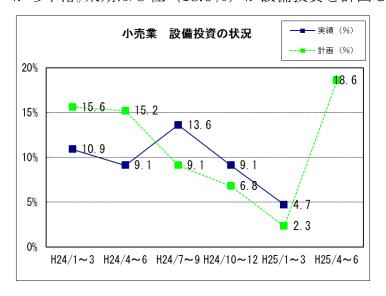


## ④設備投資

新規設備投資の状況

				投	資	内	容			
	あり	土地	店 舗	販売設備	車両・	付帯	OA	福利厚	その他	なし
					運搬具	施設	機器	生施設		
前期実施(実数)	4	1	2	1	1	1	0	1	1	40
(%)	9.1	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	90.9
今期実施 (実数)	2	0	0	0	0	1	1	0	0	43
(%)	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	95.3
来期計画 (実数)	8	0	3	4	3	1	3	0	1	35
(%)	18.6	0.0	20.0	26.7	20.0	6.7	20.0	0.0	6.7	81.4

今期設備投資を実施した企業は 2 社 (4.7%)。前期(平成 24 年  $10\sim12$  月期)の実施企業 4 社 (9.1%) から下落。来期は 8 社 (18.6%) が設備投資を計画している。



### ⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・「需要の停滞」
- ・「購買力の他地域への流出」
- ・「大型店・中型店進出による競争の激化」
- 「消費者ニーズの変化」

(前期 45.2%→今期 50.0%)

(前期 50.0%→今期 45.7%)

(前期 28.6%→今期 28.3%)

(前期 42.9%→今期 26.1%)

となっている。

